

# 環境経営レポート

## 株式会社宮元工務店

2022 年度

(対象期間 2022 年6月1日～ 2023 年5月31日)



発行日： 2023年9月1日

発行責任者 居川 浩美

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11

# 株式会社宮元工務

## 環境経営方針

当社は、設計・施工・廃棄に至るまで、自然と共生をモットーに”何をすべきか、何ができるか”を考え、建設業を通じ環境負荷の継続的な削減に努めます。

### 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の管理を徹底します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. グリーン購入を推進します。
8. 環境行動の社会貢献を推進します。
9. 全社員へ環境方針を周知するとともに、環境教育を行うことで環境に対する意識の向上を図る。
10. 環境方針は社外にも公表し、地域とのコミュニケーションツールとしても利用する。



制定日：2012年12月1日

改定日：2018年9月1日

代表取締役社長 宮元 喜輝

# 組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

株式会社宮元工務店  
代表取締役社長 宮元 喜輝

(2) 所在地

本 社(事務所) 〒526-0224 滋賀県長浜市東野町184-3  
倉 庫(倉庫、資機材置場、土場) 〒526-0224 滋賀県長浜市東野町195番地  
土 場 〒526-0224 滋賀県長浜市東野町6番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 居川 浩美 TEL : 0 7 4 9 - 5 1 - 9 0 3 1  
担当者 総務部 居川 浩美 TEL : 0 7 4 9 - 5 1 - 9 0 3 1

(4) 事業内容

土木工事、法面工事、舗装工事、建築工事、一級建築士事務所

(5) 事業の規模

売上高 21,600 万円

	本 社	倉 庫	土 場	合計
従業員 名	10 名	名	名	10
延べ床面積 m <sup>2</sup>	99 m <sup>2</sup>	9,805 m <sup>2</sup>	258 m <sup>2</sup>	10,162

(6) 事業年度

6 月 1 日 ~ 5 月 # 日

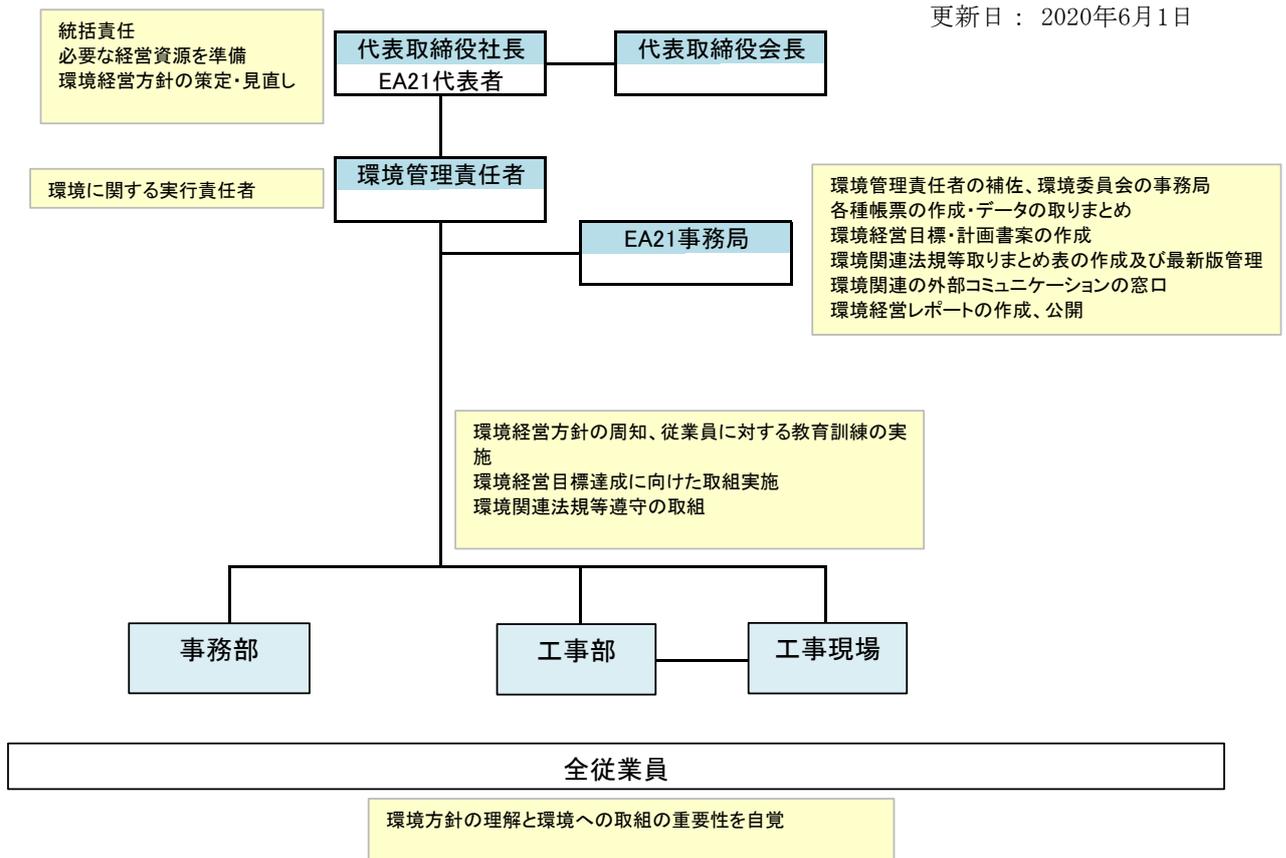
## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社宮元工務店  
対象事業所 : 本 社  
倉 庫  
土 場

対象外 : なし  
活動 : 土木工事、法面工事、舗装工事、建築工事、一級建築士事務所

# 環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2020年6月1日



## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年	
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	67,108	56,024	60,554	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	72	72	60	
産業廃棄物排出量	トン	241	271	121	
水使用量	m <sup>3</sup>	30	30	30	
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318	0.318	0.318	kg-CO <sub>2</sub> /kWh
※2021年度のデータは期初から期の途中まで		関西電力	関西電力	関西電力	
※負荷の実績は工事現場を含む					

## 環境経営目標及びその実績

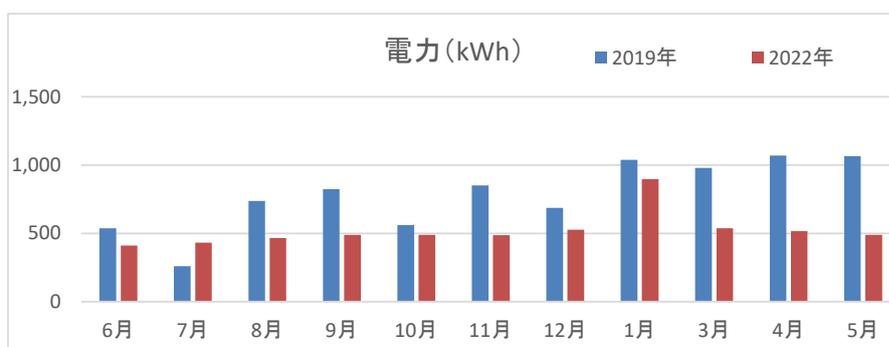
項目	年度	2019年 (基準値)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kWh	9,578	9,291	6,426	○	9,195	9,099
	kg-CO <sub>2</sub>	3,046	2,954	2,043		2,924	2,894
	基準年度比		97%	67%		96%	95%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,605	6,407	3,611	○	6,341	6,275
	基準年度比		97%	55%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	57,457	55,734	54,900	○	55,159	54,584
	基準年度比	2019年	97%	96%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合	kg-CO <sub>2</sub>	67,108	65,095	60,554	○	64,424	63,753
一般廃棄物の削減	kg	72	72	60	○	72	72
	基準年度比		100%	83%		100%	100%
産業廃棄物の削減	t	241	241	121	○	241	241
	基準年度比		100%	50.3%		1	1
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	90%	100%	○	90%	90%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	30	30	30	○	30	30
	基準年度比		100%	100%		100%	100%
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)					

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

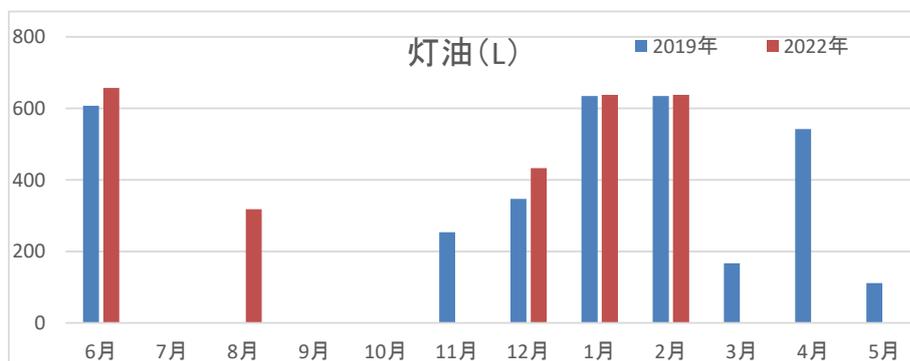
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容 基準年度の目標値97%に対し、67%で大幅に達成した。今後も節電に努める。原単位では売上高が2019年度比60%増で、二酸化炭素の排出量は百万円当たり、22.6kg-CO2⇒9.5kg-CO2に削減され、58%の削減となった。
数値目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・機械設備・OA機器などのスイッチオフ	○	



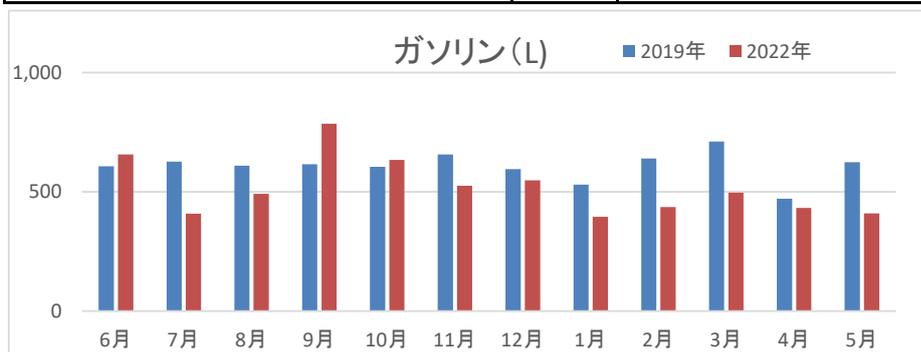
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	538	259	737	824	561	851	687	1,038	978	978	1,070	1,066
2022年	410	433	466	489	488	486	527	896	689	538	516	488

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>灯油による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容 基準年度の目標値97%に対し、冬期の工事が比較的少なく、現場事務所のストーブでの使用量が削減できた。事務所でのストーブは、極力エアコンを使用した結果、55%と大幅に達成した。外気温の厳しさにもよるが、次年度も温度管理を徹底するよう努めたい。
数値目標	○	
・ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)	○	

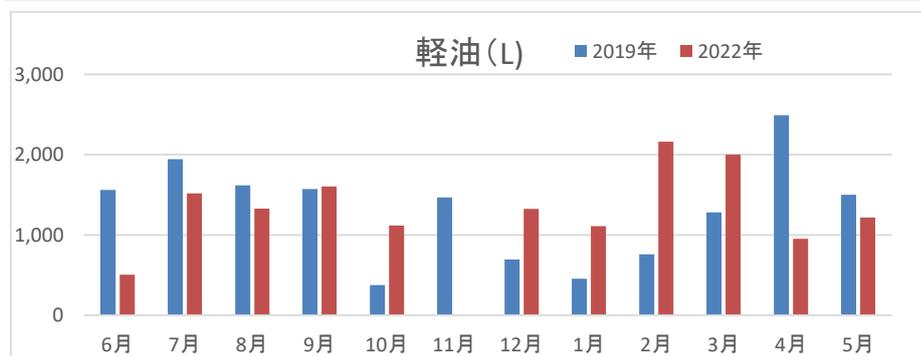


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	607	0	0	0	0	254	347	635	635	167	542	112
2022年	657	0	318	0	0	0	433	638	638	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ガソリン・軽油夫々基準年度の目標値97%に対し、ガソリン、軽油ともエコ使用に努め、96%と目標を達成した。次年度もエコドライブを推進して行く。
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	○	
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・環境に配慮した稼働	○	

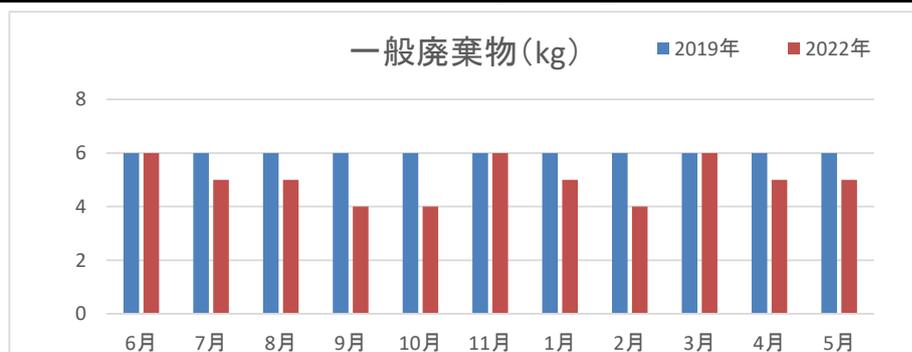


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	607	627	610	616	604	656	596	530	640	711	472	624
2022年	657	408	492	786	634	525	548	395	436	497	432	410



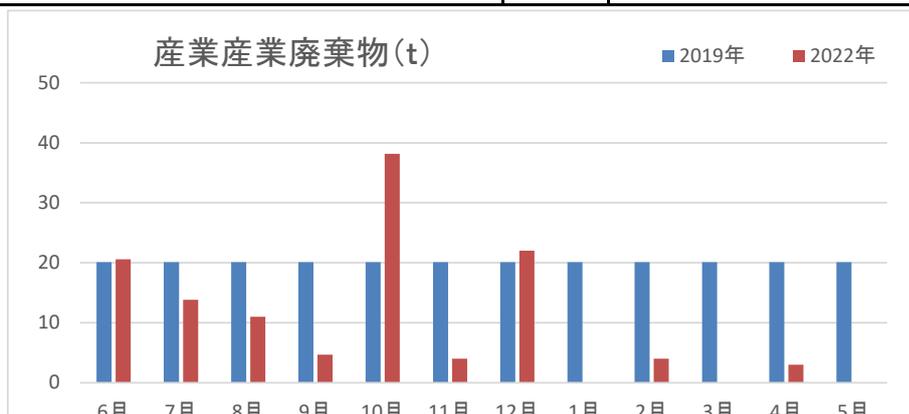
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	1,560	1,942	1,617	1,572	377	1,466	693	453	760	1,281	2,492	1,499
2022年	504	1,518	1,328	1,603	1,117	0	1,324	1,111	2,161	2,000	952	1,216

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	印刷ミスの防止や裏紙印刷はできている。 昼食や家庭ごみの持ち込みはしないように徹底できている。 廃棄物を増やさないよう無駄な購入しないようにチェックできた 廃棄物排出数量の計量はしていないため、数値は推定値。
・使用済みコピー用紙を再利用する	○	
・無駄な資機材を購入しない。	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2022年	6	5	5	4	4	6	5	5	4	6	5	5

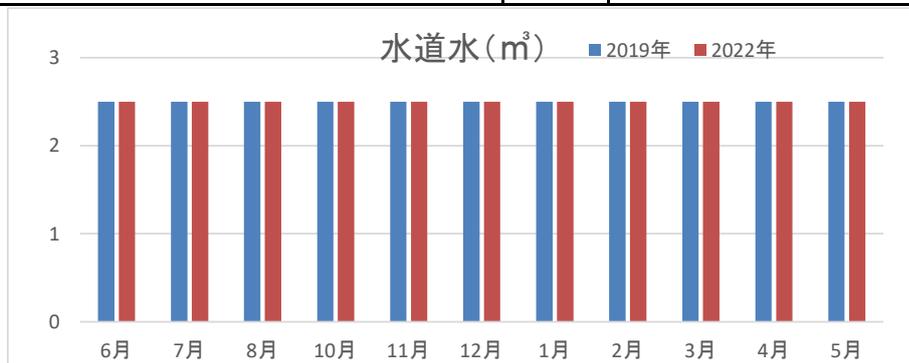
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	産業廃棄物は工事の内容、量により排出量は大きく左右される。産業廃棄物の処理は全て適切に処理できた。今期は排出量は基準年度の50%と少なかった。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2022年	21	14	11	5	38	4	22	0	4	0	3	0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	工事に伴う産業廃棄物はAs・Co殻とコンクリート殻のみで、分別を徹底することにより、100%の再資源化を達成した。来期も工事内容により、産業廃棄物の内容は異なるかも知れないが、分別を徹底することにより、再資源化率を向上させるように取り組む。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用量はメーターを設置していないため、推定。節水行動は遵守できている。今後も節水に努める。また、地下水は冬季濁水になってきているため、上水の敷設を申請中。
・洗車の水使用量を減らす	○	
・水を流しながらの洗い物はしない	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2022年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・低騒音・低排気ガス重機を使用し、環境	○	実施した工事については、全て環境に配慮した重機を使用し、汚濁水の流出もなかった。今後も、環境に配慮した工事推進を進めて行く。
・汚濁水の防止に努める	○	

地域の美化活動に参加する	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・地域の美化活動に参加する	○	エコフォスター地域清掃活動を初め、琵琶湖環境美化活動や県下一斉清掃、建設協会長浜支部の社会貢献活動に参加できました。事務所周辺の清掃も月1回全員で実施しています。今後も継続して行きます。

#### 取組紹介欄



### 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	重機類
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・重機類対象品の簡易点検
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

#### □外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境上の苦情・要請等とはとくにありませんでした。

## 緊急事態対応の試行・訓練

<b>緊急事態の想定： 火災の発生</b>	
■実施日： 2023年3月6日 ■参加者： 参加者： 7名	■実施場所 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練（現場にて火災発生を想定した消火訓練を実施。）
■評価：	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
木之本町の工事現場で実施。  使用方法の確認や現場ハウスでの設置確認やハウスから火災現場へ迅速に持ち出せるか等を実施した	

2023年7月31日

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

6年前に本社移転及び新築時に事務所を省エネに配慮と作業空間を仕事のしやすさ(作業環境)に注目して環境に配慮した。移転後の効果がでてきた2019年度を新しい基準年度として、活動してきた。2022年度は二酸化炭素排出量3%削減目標に対して、9.8%削減と大きく目標を達成できた。営業車を全てハイブリッドにしてガソリンが節約できたことや、重機のアイドリングストップ等が徹底してきた効果と見たい。特筆すべきは電気使用量で省エネ配慮した事務所の2019年度から更に33%の削減となった。電気に占める二酸化炭素の割合は少ないが、不要な消灯を今後も習慣づけた。今後も継続して二酸化炭素排出量の削減に繋がるよう、次年度以降に太陽光発電の導入を検討して行きたい。毎日のことが、数年後には大きな差になりますので、このエコアクション21を活用す

環境経営方針	☑ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	☐ 変更あり

## これまでの環境活動の紹介



玄関照明: 人感センサー付きLED照明



窓を大型断熱ガラスでし、明るい事務所  
(暖房・冷房の省エネになっている。)



大型事務机を特注、上部にLED照明を配し、作業性を良くしている

その他: トイレ・・・LED人感センサー



社会貢献活動: エコフスター活動の様子